

国民皆保険の維持に必要な 医療費の節減

わが国の医療給付費は、2012年度の35兆円から2025年度には54兆円と、毎年1兆円を超える規模で増加する見通しです。このままでは、皆さんの保険料を引き上げても、国民皆保険制度を維持できなくなります。

今後も国民皆保険制度を継続して守るためには、皆さん一人ひとりが医療費の節減に取り組む必要があります。

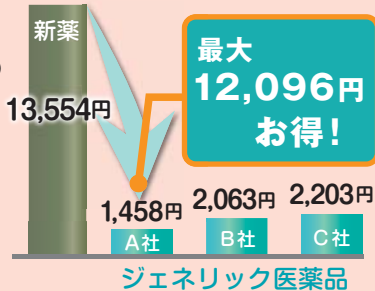
それが皆さんの負担する保険料を抑えることにもつながります。

ジェネリック医薬品を活用しよう

健保組合は、安全性・有効性などが確保され価格が安いジェネリック医薬品使用促進のため、切り替えた場合の差額のお知らせや処方をお願いするカードの配布を行っています。ジェネリック医薬品を積極的に利用して、お薬代を節約しましょう。

高血圧症のお薬を12ヵ月間服用した場合

*リシノプリル水和物錠(20mg)
1日1回1錠、3割負担の場合



日本ジェネリック医薬品学会「かんじゃさんの薬箱」より算出 2012年4月現在

健康診断を受けよう

健康診断は、病気の早期発見により、重症化や医療費の増加を防ぐことが期待できます。重症化による生活の質の低下を招かないためにも、年に1回の健康診断を受けましょう。また、40歳以上の加入者には、特定健診・特定保健指導を実施しています。

特定健診で重視される生活習慣病は、死亡要因全体の約3分の1を占めるといわれています。

積極的に利用しましょう。



医療費の節減は、健保組合・加入者の取り組みにとどまらず、国全体で取り組むべき課題です。

健保組合・健保連は、積極的な取り組みを求め、活動しています。